

2017 年度  
新 1 年生履修可能科目シラバス  
(外国語科目)

長崎総合科学大学  
共通教育部門  
言語教育グループ

# 外国語科目系統図

## 教育目標

- 自分の考えを人に伝え、人の意見を理解する基本的なコミュニケーション能力を修得する。
- 言語の能力として話す「聞く」「読む」「書く」の4種類をバランスよく身につける。
- 人間社会の多様な文化があることを理解し、自らと異なる文化をも受け入れられる素地を作る。

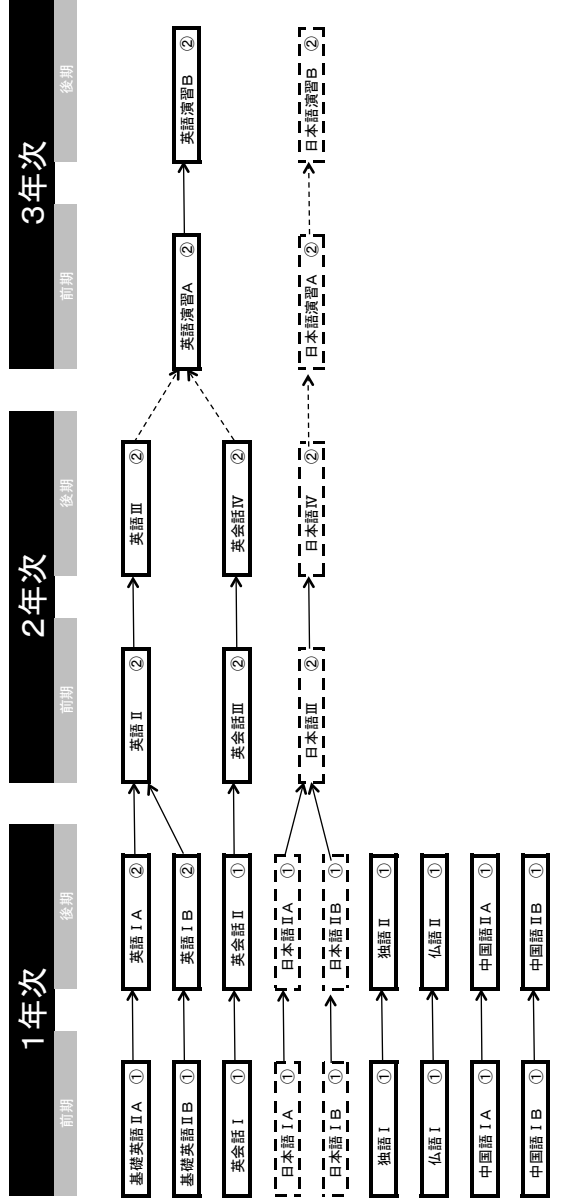
## 学位授与の方針の該当項目

- 宇内和親の「人間社会の多様な文化を理解し、社会の一員としてその発展に貢献できる能力」
- 自律自強の「教養・倫理」

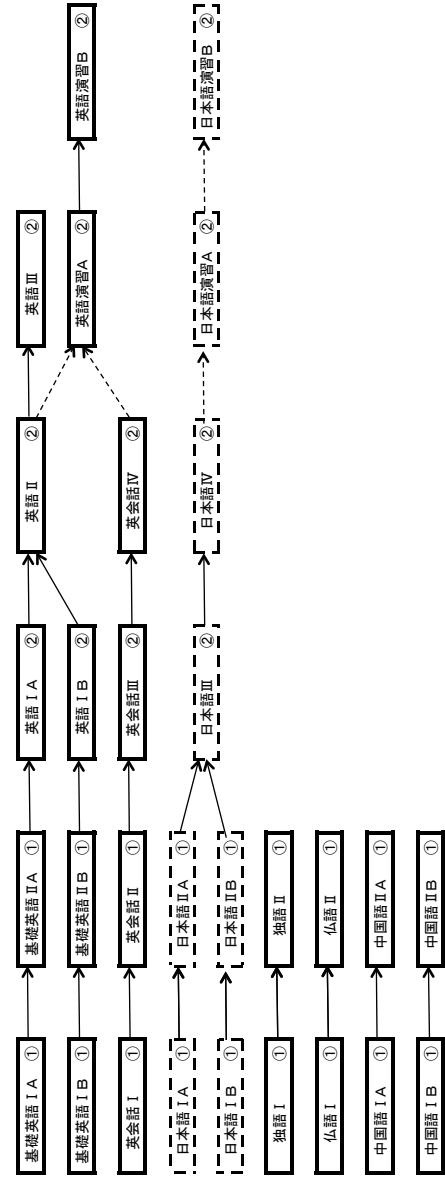
## 履修上の注意

- 実線はその順番で履修すべきことを推奨している
- 点線は関係が深いことを示す
- 自律自強の「教養・倫理」
- 「二」は、留学生対象科目
- 自律自強の「教養・倫理」
- 基礎英語IIから始まる履修モデルと基礎英語Iから始まる履修モデルの2つがあり、入学後の英語プレイズメント・テストの結果を参考にしてモデルを決定する

基礎英語II A B から始める履修系統図



基礎英語I A B から始める履修系統図



選択したシラバスのプレビュー画面です

2017年度

操作ボタン

講義科目名称 : 基礎英語 I A (前期 1年E5, E6, E7)  
 英文科目名称 : Basic English IA

授業コード : 17101 17102 17106

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1年次	1単位	選択
担当教員			
上野 誠司 (E5)、上野 誠司 (E6)、若林 節子 (E7)			
全学年	全学部	週 2 時間	

授業概要	<p>1年次・「前期」に開講する本科目は、英語カリキュラム・基礎クラスのスタートに位置づけられるものである。基礎英語Iでは、英語に苦手意識を持っている学生や英語力を十分に発揮できない学生を対象に、英語の基礎に立ち返り、これまでに修得してきた英語力を再構築して、その力をバランスよく伸ばすことを目指す。基礎英語 IAでは、reading / writingに重点がおかれ、同時期に開講する「基礎英語 IB」では、listening / speakingに重点がおかれている。</p> <p>*[重要]「基礎英語 IA」は、「基礎英語 IB」とセットで構成されている科目であるので、両方の科目を同学期に履修すること。</p>
授業計画	<p>1回 ガイダンス                  2回 Unit 1: Nice to meet you!-Reading                  3回 Unit 1: Nice to meet you!-Writing                  4回 Unit 2: What do you do?-Reading                  5回 Unit 2: What do you do?-Writing                  6回 Unit 3: Do you like spicy food?-Reading                  7回 Unit 3: Do you like spicy food?-Writing                  8回 Review: Units 1-3                  9回 Unit 4: How often do you do yoga?-Reading                  10回 Unit 4: How often do you do yoga?-Writing                  11回 Unit 5: What are you watching?-Reading                  12回 Unit 5: What are you watching?-Writing                  13回 Unit 6: Where were you yesterday?-Reading                  14回 Unit 6: Where were you yesterday?-Writing                  15回 Review: Units 4-6</p>
授業形態	講義
達成目標	<p>① 異文化や、多様な価値観を理解する上で、重要なコミュニケーションの道具としての「英語」に慣れ親しむこと。                  ② 外国語学習だけに留まらず、生涯学習にもつながる積極的な学習習慣を身につけること。主体的、積極的に英語の学習に取り組み、広く世界を知る喜びを得ること。</p>
評価方法	<p>① 授業に対する積極的な姿勢や、授業内で行う小テスト、出された課題の内容及び提出状況などによる平常点と、定期試験期間中に行われる期末試験とで、50点。                  ② 授業外で行われる「英語共通テスト」50点、という配分で評価する (総合 100 点満点)。</p>
評価基準	上記の評価方法で算出された100点満点の成績に対して、80-100点を優、70-79点を良、60-69点を可、59点以下を不可とする。
教科書・参考書	<p>教科書: Smart Choice 1 Student book by Ken Wilson [Third edition] (ISBN: 978-0-19-460264-8)                  : 『マーフィーのケンブリッジ英文法 (初級編) 第3版』 (ISBN:978-4-889967-65-4)                  *教科書は、基礎英語IAと基礎英語IBとは、共通である。                  その他については、授業中に随時指示する。</p>
履修条件	<p>①クラス分けの指示に従うこと。                  ②外国語のカリキュラムの系統性に従って履修すること。                  ③主体的に学習する意欲、姿勢を持つこと。</p>
履修上の注意	<p>① 3分の2以上の授業に出席し、主体的に参加することが最低限必要であり、これを為さない場合は評価をしないので注意すること。                  ②授業中に指示された自己学習については、学習支援センターや、図書館などを利用したりしながら必ず行うこと。</p>
予習・復習	<p>授業と同程度の時間を使って、教科書の内容や教員が指定した予習、教員に指示された課題やレポートなどを学習支援センターで行い、疑問点があれば教員やセンター職員に質問すること。                  [*推奨] 教室・図書館・学習支援センターの英語多読用図書を使って、自ら目標をたてて自主的に学習したりすることが望ましい。</p>
オフィスアワー	授業中に説明する。
備考・メッセージ	<p>* JABEE学習・教育目標 (1.4)                  * 2013年度以前入学者科目名称: 英語IA</p>

選択したシラバスのプレビュー画面です

2017年度

操作ボタン

講義科目名称 : 基礎英語IB (前期 1年E5, E6, E7)

授業コード : 17122 17123 17124

英文科目名称 : Basic English I B

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1年次	1	選択
担当教員			
上野 誠司 (E5)、上野 誠司 (E6)、若林 節子 (E7)			
全学年	全学部	週2時間	

授業概要	<p>1年次・「前期」に開講する本科目は、英語カリキュラム・基礎クラスのスタートに位置づけられるものである。基礎英語Iでは、英語に苦手意識を持っている学生や英語力を十分に発揮できない学生を対象に、英語の基礎に立ち返り、これまでに修得してきた英語力を再構築して、その力をバランスよく伸ばすことを目指す。「基礎英語 IB」では、listening / speaking に重点がおかれ、同時期に開講する基礎英語 IAではreading / writingに重点がおかれている。</p> <p>*[重要]「基礎英語 IB」は、「基礎英語 IA」とセットで構成されている科目であるので、両方の科目を同学期に履修すること。</p>
授業計画	<p>1回 ガイダンス                  2回 Unit 1: Nice to meet you!-Listening                  3回 Unit 1: Nice to meet you!-Speaking                  4回 Unit 2: What do you do?-Listening                  5回 Unit 2: What do you do?-Speaking                  6回 Unit 3: Do you like spicy food?-Listening                  7回 Unit 3: Do you like spicy food?-Speaking                  8回 Review: Units 1-3                  9回 Unit 4: How often do you do yoga?-Listening                  10回 Unit 4: How often do you do yoga?-Speaking                  11回 Unit 5: What are you watching?-Listening                  12回 Unit 5: What are you watching?-Speaking                  13回 Unit 6: Where were you yesterday?-Listening                  14回 Unit 6: Where were you yesterday?-Speaking                  15回 Review: Units 4-6</p>
授業形態	講義
達成目標	<p>① 異文化や、多様な価値観を理解する上で、重要なコミュニケーションの道具としての「英語」に慣れ親しむこと。                  ② 外国語学習だけに留まらず、生涯学習にもつながる積極的な学習習慣を身につけること。主体的、積極的に英語の学習に取り組み、広く世界を知る喜びを得ること。</p>
評価方法	<p>① 授業に対する積極的な姿勢や、授業内で行う小テスト、出された課題の内容及び提出状況などによる平常点と、定期試験期間中に行われる期末試験とで、50点。                  ② 授業外で行われる「英語共通テスト」50点、という配分で評価する (総合 100 点満点)。</p>
評価基準	上記の評価方法で算出された100点満点の成績に対して、80-100点を優、70-79点を良、60-69点を可、59点以下を不可とする。
教科書・参考書	<p>教科書: Smart Choice 1 Student book by Ken Wilson [Third edition] (ISBN: 978-0-19-460264-8)                  : 『マーフィーのケンブリッジ英文法(初級編)第3版』(ISBN:978-4-889967-65-4)</p> <p>*教科書は、基礎英語IAと基礎英語IBとは、共通である。                  その他については、授業中に随時指示する。</p>
履修条件	<p>①クラス分けの指示に従うこと。                  ②外国語のカリキュラムの系統性に従って履修すること。                  ③主体的に学習する意欲、姿勢を持つこと。</p>
履修上の注意	<p>① 3分の2以上の授業に出席し、主体的に参加することが最低限必要であり、これを為さない場合は評価をしないので注意すること。                  ②授業中に指示された自己学習については、学習支援センターや、図書館などを利用したりしながら必ず行うこと。</p>
予習・復習	<p>授業と同程度の時間を使って、教科書の内容や教員が指定した予習、教員に指示された課題やレポートなどを学習支援センターで行い、疑問点があれば教員やセンター職員に質問すること。                  [*推奨] 教室・図書館・学習支援センターの英語多読用図書を使って、自ら目標をたてて自主的に学習したりすることが望ましい。</p>
オフィスアワー	授業中に説明する。
備考・メッセージ	<p>* JABEE学習・教育目標 (1.4)                  * 2013年度以前入学者科目名称 : 英語IB</p>

閉じる

選択したシラバスのプレビュー画面です

2017年度 [操作ボタン](#)

講義科目名称 : 基礎英語IIA (前期 1年E1, E2, E3, E4)

授業コード : 17103 17104 17105 17107

英文科目名称 : Basic English IIA

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1年次	1	選択
担当教員			
小田 尚子 (E1)、パスカル ヤマック (E2)、小田 尚子 (E3)、南川 眞知子 (E4)			
全学年	全学部	週2時間	

授業概要	1年次・「前期」に開講する本科目は、英語カリキュラム・標準クラスのスタートに位置づけられる。基礎英語IIでは、一定の英語力を身につけた学生を対象に、これまで修得してきた英語の4技能をさらにバランスよく伸ばすことを目指す。基礎英語IIAでは、reading / writingに重点がおかれ、同時期に開講する「基礎英語IIB」では、listening / speakingに重点がおかれている。 *[重要]「基礎英語 IIA」は、「基礎英語 IIB」とセットで構成されている科目であるので、両方の科目を同学期に履修すること。
授業計画	1回 ガイダンス 2回 Unit 1: Nice to meet you!-Reading / writing 3回 Unit 2: What do you do?-Reading / writing 4回 Unit 3: Do you like spicy food?-Reading / writing 5回 Unit 4: How often do you do yoga?-Reading / writing 6回 Unit 5: What are you watching?-Reading / writing 7回 Unit 6: Where were you yesterday?-Reading / writing 8回 Review: Units 1-3 and Units 4-6 9回 Unit 7: Which one is cheaper?-Reading / writing 10回 Unit 8: What's she like?-Reading / writing 11回 Unit 9: What can you do there?-Reading / writing 12回 Unit 10: Is there a bank near here?-Reading / writing 13回 Unit11: Did you have a good time?-Reading / writing 14回 Unit 12: I'm going to go by car.-Reading / writing 15回 Review: Units 7-9 and Units 10-12
授業形態	講義
達成目標	① 異文化や、多様な価値観を理解する上で、重要なコミュニケーションの道具としての「英語」に慣れ親しむこと。 ② 外国語学習だけに留まらず、生涯学習にもつながる積極的な学習習慣を身につけること。主体的、積極的に英語の学習に取り組み、広く世界を知る喜びを得ること。
評価方法	① 授業に対する積極的な姿勢や、授業内で行う小テスト、出された課題の内容及び提出状況などによる平常点と、定期試験期間中に行われる期末試験とで、50点。 ② 授業外で行われる「英語共通テスト」50点、という配分で評価する (総合 100点満点)。
評価基準	上記の評価方法で算出された100点満点の成績に対して、80-100点を優、70-79点を良、60-69点を可、59点以下を不可とする。
教科書・参考書	教科書: Smart Choice 1 Student book by Ken Wilson [Third edition] (ISBN: 978-0-19-460264-8) : 『マーフィーのケンブリッジ英文法(初級編)第3版』(ISBN:978-4-889967-65-4) *教科書は、基礎英語IIAと基礎英語IIBとは、共通である。 その他については、授業中に随時指示する。
履修条件	①クラス分けの指示に従うこと。 ②外国語のカリキュラムの系統性に従って履修すること。 ③主体的に学習する意欲、姿勢を持つこと。
履修上の注意	① 3分の2以上の授業に出席し、主体的に参加することが最低限必要であり、これを為さない場合は評価をしないので注意すること。 ②授業中に指示された自己学習については、学習支援センターや、図書館などを利用したりしながら必ず行うこと。
予習・復習	授業と同程度の時間を使って、教科書の内容や教員が指定した予習をするとともに、教員に指示された課題やレポートなどを行い、授業の内容をしっかりと復習し、疑問点があれば教員に質問すること。 [*推奨] 教室・図書館・学習支援センターの英語多読用図書を使って、自ら目標をたてて自主的に学習したりすることが望ましい。
オフィスアワー	授業中に説明する。
備考・メッセージ	* JABEE学習・教育目標 (1.4) * 2013年度以前入学者科目名称 : 英語IIA

閉じる

選択したシラバスのプレビュー画面です

2017年度 [操作ボタン](#)

講義科目名称 : 基礎英語IIB (前期 1年E1, E2, E3, E4)  
 英文科目名称 : Basic English IIB

授業コード : 17121 17138 17139 17140

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1年次	1	選択
担当教員			
小田尚子 (E1), パスカル ヤマック(E2), 小田尚子(E3), 南川真知子 (E4)			
1年以上	全学部		週2時間

授業概要	<p>1年次・「前期」に開講する本科目は、英語カリキュラム・標準クラスのスタートに位置づけられる。基礎英語IIでは、本学入学前に一定の英語力を身につけた学生を対象に、これまでに修得してきた英語の4技能をさらにバランスよく伸ばすことを目指す。基礎英語IIBではlistening/speakingに重点が置かれ、同時期に開講する「基礎英語IIA」では、reading/writingに重点が置かれている。</p> <p>* [重要] 「基礎英語IIB」は、「基礎英語IIA」とセットで構成されている科目であるので、両方の科目を同学期に履修すること。</p>
授業計画	<p>1回 ガイダンス                  2回 Unit 1: Nice to meet you!-Listening / speaking                  3回 Unit 2: What do you do?-Listening / speaking                  4回 Unit 3: Do you like spicy food?-Listening / speaking                  5回 Unit 4: How often do you do yoga?-Listening / speaking                  6回 Unit 5: What are you watching?-Listening / speaking                  7回 Unit 6: Where were you yesterday?-Listening / speaking                  8回 Review: Units 1-3 and Units 4-6                  9回 Unit 7: Which one is cheaper?-Listening / speaking                  10回 Unit 8: What's she like?-Listening / speaking                  11回 Unit 9: What can you do there?-Listening / speaking                  12回 Unit 10: Is there a bank near here?-Listening / speaking                  13回 Unit11: Did you have a good time?-Listening / speaking                  14回 Unit 12: I'm going to go by car.-Listening / speaking                  15回 Review: Units 7-9 and Units 10-12</p>
授業形態	講義
達成目標	<p>①異文化や、多様な価値観を理解する上で、重要なコミュニケーションの道具としての「英語」に親しみ、英語を使つての「能動的なコミュニケーション力」を身につけること。                  ②主体的、積極的に英語の学習に取り組み、広く世界を知る喜びを得ること。</p>
評価方法	<p>①授業に対する積極的な姿勢や、授業内で行う小テスト、出された課題の内容及び提出状況などによる平常点と、定期試験期間中に行われる期末試験とで50点、                  ②授業外で行われる「英語共通テスト」50点、                  という配分で評価する（総合 100点満点）。</p>
評価基準	上記の評価方法で算出された100点満点の成績に対して、80-100点を優、70-79点を良、60-69点を可、59点以下を不可とする。
教科書・参考書	<p>教科書: Smart Choice 1 Student book by Ken Wilson [Third edition] (ISBN: 978-0-19-460264-8)                  : 『マーフィーのケンブリッジ英文法 (初級編) 第3版』 (ISBN:978-4-889967-65-4)                  *教科書は、基礎英語IIAと基礎英語IIBとは、共通である。                  その他については、授業中に随時指示する。</p>
履修条件	<p>①外国語のカリキュラムの系統性に従って履修すること。                  ②主体的に学習する意欲、姿勢を持つこと。</p>
履修上の注意	<p>①3分の2以上の授業に出席し、主体的に参加することが最低限必要であり、これを為さない場合は評価をしないので注意すること。                  ②授業中に指示された自己学習については、学習支援センターや、図書館などを利用したりしながら必ず行うこと。</p>
予習・復習	<p>授業と同程度の時間を使って、教科書の内容や教員が指定した予習、教員に指示された課題やレポートなどを学習支援センターで行い、疑問点があれば教員やセンター職員に質問すること。                  [*推奨] 教室・図書館・学習支援センターの英語多読用図書を使って、自ら目標をたてて自主的に学習したりすることが望ましい。</p>
オフィスアワー	授業中に説明する。
備考・メッセージ	<p>* JABEE学習・教育目標 (1.4)                  * 2013年度以前入学者科目名称 : 英語IIB</p>

閉じる

選択したシラバスのプレビュー画面です

2017年度 [操作ボタン](#)

講義科目名称 : 英会話 I

授業コード : 17110

英文科目名称 : English Conversation I

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1年次	1	選択
担当教員			
若林 節子			
1年次以上	全学部	週2時間	

授業概要	1年次・「前期」に開講する本科目は、英語カリキュラム・標準クラスの「基礎英語IIA・B」（1年次・前期）に対応するレベルで行われるものである。英会話 I では、これまでに修得してきた英語の4技能を活かして、スピーキングの技能を伸ばし、さらにはプレゼンテーションの技能を獲得することを目指す。
授業計画	<p>1回 ガイダンス</p> <p>2回 Unit 1: Nice to meet you!-speaking / presenting</p> <p>3回 Unit 2: What do you do?-speaking / presenting</p> <p>4回 Unit 3: Do you like spicy food?-speaking / presenting</p> <p>5回 Unit 4: How often do you do yoga?-speaking / presenting</p> <p>6回 Unit 5: What are you watching?-speaking / presenting</p> <p>7回 Review: Units 1-6</p> <p>8回 Unit 6: Where were you yesterday?-speaking / presenting</p> <p>9回 Unit 7: Which one is cheaper?-speaking / presenting</p> <p>10回 Unit 8: What's she like?-speaking / presenting</p> <p>11回 Unit 9: What can you do there?-speaking / presenting</p> <p>12回 Unit 10: Is there a bank near here?-speaking / presenting</p> <p>13回 Unit 11: Did you have a good time?-speaking / presenting</p> <p>14回 Unit 12: I'm going to go by car.-speaking / presenting</p> <p>15回 Review: Units 7-12</p>
授業形態	講義
達成目標	<p>①異文化や多様な価値観を理解する上で重要なコミュニケーションの道具としての「英語」に親しみ、英語を使つての「能動的コミュニケーション力」を身につけること。</p> <p>②主体的に英語の学習に取り組み、広く世界を知り、英語を使って積極的に世界と関わってゆく力を習得すること。</p>
評価方法	<p>①授業に対する積極的な姿勢や、授業内で行う小テスト、出された課題の内容及び提出状況などによる平常点、授業期間とは別の定期試験期間中に行われる期末試験で50点、</p> <p>②授業外で行われる「英語共通テスト」50点、</p> <p>という配分で評価する（総合100点満点）。</p>
評価基準	上記の評価方法で算出された100点満点の成績に対して、80・100点を優、70-79点を良、60-69点を可、59点以下を不可とする。
教科書・参考書	<p>教科書: Smart Choice 1 Student book by Ken Wilson [Third edition] (ISBN: 978-0-19-460264-8)</p> <p>*教科書は、英会話Iと、基礎英語IA/基礎英語IBとは、共通である。</p> <p>参考書: 『マーフィーのケンブリッジ英文法(初級編)第3版』(ISBN:978-4-889967-65-4)</p> <p>その他については、授業中に随時指示する。</p>
履修条件	<p>①外国語のカリキュラムの系統性に従って履修すること。</p> <p>②主体的に学習する意欲、姿勢を持つこと。</p>
履修上の注意	<p>①3分の2以上の授業に出席し、主体的に参加することが最低限必要であり、これを為さない場合は評価をしないので注意すること。</p> <p>②授業中に指示された自己学習については、学習支援センターや、図書館などを利用したりしながら必ず行うこと。</p> <p>③人数によっては履修制限をする場合があるので従うこと。</p>
予習・復習	<p>授業と同程度の時間を使って、教科書の内容や教員が指定した予習、教員に指示された課題やレポートなどを学習支援センターで行い、疑問点があれば教員やセンター職員に質問すること。</p> <p>【*推奨】教室・図書館・学習支援センターの英語多読用図書を使って、自ら目標をたてて自主的に学習したりすることが望ましい。</p>
オフィスアワー	授業中に説明する。
備考・メッセージ	<p>* JABEE学習・教育目標 (1.4)</p> <p>* 2013年度以前入学者科目名称 : 英会話I</p>

閉じる

選択したシラバスのプレビュー画面です

2017年度 [操作ボタン](#)

講義科目名称 : **独語 I**  
英文科目名称 : **German I**

授業コード : **17111**

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1年次	1	選択
担当教員			
小川 保博			
1年次	全学部	週2時間	

授業概要	総合独語入門。発音に重点を置きながら、基礎的な語彙、必要最小限の文法を運用し、ドイツ事情などを紹介する単純な文を理解し、場面に即した平易な言い回しを繰り返し学び、読解ならびに日常会話の「礎」を築くことを目指す。具体的な内容としては単純時称、単文を中心に講義と演習を併用しながら授業を進めていく。併せて、欧州事情、ドイツ人の風俗習慣、考え方なども学ぶ。
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. オリエンテーション</li> <li>2. Aussprache 文字と発音</li> <li>3. Ich trinke Kaffee. 動詞に現在人称変化/文の構造</li> <li>4. Er faehrt nach Berlin. 不規則動詞/命令文</li> <li>5. Das Haus ist gross. 名詞</li> <li>6. Das Haus ist gross. 冠詞</li> <li>7. Mein Vater ist Lehrer. 人称代名詞</li> <li>8. Mein Vater ist Lehrer. 冠詞類/基数</li> <li>9. Ich rufe dich an. 分離動詞</li> <li>10. Er bekommt ein Stipendium. 非分離動詞/esの用法</li> <li>11. Ich hoffe, dass mein Vater und meine Mutter morgen kommen. 接続詞</li> <li>12. Das Geschenke ist fuer dich. 前置詞 (1)</li> <li>13. Das Buch liegt auf dem Tisch. 前置詞 (2)</li> <li>14. 疑問詞wer と was</li> <li>15. Kannst du morgen kommen? 助動詞</li> </ol>
授業形態	講義
達成目標	初歩的なドイツ語を理解し、日常よく使われる簡単な表現や文を運用できる「ドイツ語検定試験(独検) 5級レベルを目指す。
評価方法	定期試験の成績、小テストの成績、復習用レポートの提出状況、授業参加度[教員との質疑応答、受講者間での学習言語による対話、テキスト設問応答]を考慮し、総合的に評価する。定期試験60%、小テスト10%、課題提出10%、授業参加度20%。
評価基準	評定は、優、良、可、不可の4種類をもってこれを表し、優は80点から100点、良は70点から79点、可は60点から69点、不可は59点以下とし、優、良、可を合格、不可を不合格とする。
教科書・参考書	教科書:「ideal 例文で学ぶドイツ文法」(朝日出版社) 参考書: 独和辞典
履修条件	特に無し。
履修上の注意	復習に重点を置いて学習すること。
予習・復習	講義と同程度の時間をかけて既習部文の音読を繰り返し、復習用レポートを作成し、次回講義の内容を簡単に確認しておくこと。
オフィスアワー	講義後の一時間。
備考・メッセージ	復習に重点を置きながら毎日学習する習慣を身につけてください。また、テレビやラジオの「ドイツ語講座」などを利用し、日々外国語に接するよう心掛け、欧州・ドイツの現代事情に関する書をたくさん読んでください。

閉じる



選択したシラバスのプレビュー画面です

2017年度 [操作ボタン](#)

講義科目名称 : 仏語 I  
英文科目名称 : French I

授業コード : 17127

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1年次	1	選択
担当教員			
百田 みち子			
1年次	全学部	週2時間	

授業概要	まったくの初心者のための会話入門。使えるフランス語を身につけるのが狙い。やさしいフランス語を実際の日常場面にあてはめて練習していきます。毎回、「授業のポイント」を書いたプリントを1枚配布します。同時に伝統ある現代フランス文化も学んでいきます。
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. フランス語の発音と綴り字、アルファベ、挨拶</li> <li>2. フランスの41の世界遺産とその読み方</li> <li>3. 自分の国籍・名前・出身地をいう</li> <li>4. 物を指し示す</li> <li>5. 尋ねる</li> <li>6. 語彙：色、数字、国籍、街にあるもの、食べ物と飲み物</li> <li>7. フィールド：フランス料理、ワイン、テーブルマナー</li> <li>8. 自分の居住地、年齢、家族、好きなものをいう</li> <li>9. 買い物をする</li> <li>10. 物事や人について尋ねる</li> <li>11. 自己紹介の文を書く</li> <li>12. 疑問文の練習 —— 相手のことを尋ねる</li> <li>13. 今日すること、週末にすること、休暇中に行くところ</li> <li>14. 場所を尋ねる</li> <li>15. 映像でみるフランス、パリ、ボルドー</li> </ol>
授業形態	講義
達成目標	フランス語の音が聞きとれ、発音でき、単語が読めるようになる。基本的な短文が発音できるようになる。簡単な自己紹介文が書けるようになる。 以上を習得する過程でフランス語という言語の特質や厚みのあるフランス文化と文明、そして現代のヨーロッパ、グローバル化したつづめる世界を学んでいく力を育む。
評価方法	試験(期末および小テスト)60%・平常点(毎回の仏問仏答)30%・レポート10%です。期末試験を受けるには出席が10回以上なくてはなりません。
評価基準	評定は、優、良、可、不可の4種類をもってこれを表し、優は80点から100点、良は70点から79点、可は60点から69点、不可は59点以下とし、優、良、可を合格、不可を不合格とする。
教科書・参考書	パリ・ボルドー (CD付き)、藤田 裕二著、朝日出版社 辞書は第1回目の授業で紹介します。また参考書は特に奨めません。参考書にたよらず、授業で理解してください。家で何度もCDを聴ける環境を整えてください。
履修条件	特に無し。
履修上の注意	特に無し。
予習・復習	一回の授業につき最低予習45分(次の課の単語を調べ、CDを聴いて本文を読んでおく)、復習45分(単語を覚え、文法項目を整理し、宿題をし、本文を音読する)が望まれます。この授業をきちんとマスターすれば、仏検5級合格も可能です。
オフィスアワー	必要に応じて希望者には補習時間を確保します。個別相談にも応じます。気軽に語学系ゼミ室へきてください。
備考・メッセージ	フランス語の発音の美しさとフランス文化の奥深さを味わってください。

閉じる



選択したシラバスのプレビュー画面です

2017年度 [操作ボタン](#)

講義科目名称 : **中国語 I B**  
英文科目名称 : **Chinese IB**

授業コード : **17126**

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1年次	1	選択
担当教員			
笹田 和子			
1年次以上	全学部	週2時間	

授業概要	中国語のイロハ・ABCからの授業。全くの中国語初心者を対象に、中国語の発音を耳から覚えることを主とする。はじめは、中国語特有の発音表記が正確によめるように訓練をする。またこの授業では積極的に会話練習を行う。ビデオを使ったロールプレイ練習を多く行い、いろいろな場面の中国語会話の練習を行う。また正確に中国語が書けることも重視し、定期的に短い中国語作文のテストを行う。毎回授業のはじめに、前回の復習として、聞き取りテストを行うので授業で学習した内容を必ず復習しておくこと。
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. ガイダンス</li> <li>2. 発音 (声調と母音)</li> <li>3. 発音 (子音)</li> <li>4. 発音の総まとめ</li> <li>5. 「出迎える」導入</li> <li>6. 「出迎える」応用</li> <li>7. 「出迎える」復習</li> <li>8. 「歓迎パーティー」導入</li> <li>9. 「歓迎パーティー」応用</li> <li>10. 「歓迎パーティー」復習</li> <li>11. 「タクシーに乗る」導入</li> <li>12. 「タクシーに乗る」応用</li> <li>13. 「タクシーに乗る」復習</li> <li>14. 「タクシーに乗る」実践</li> <li>15. 総復習と期末テストの傾向と対策</li> </ol>
授業形態	講義
達成目標	日常的な簡単な会話が中国語で行えること。短い中国語作文が正確に書けること。
評価方法	期末試験80点、授業中の会話力・翻訳力10点、宿題の提出と出来具合10点。
評価基準	評定は、優、良、可、不可の4種類をもってこれを表し、優は80点から100点、良は70点から79点、可は60点から69点、不可は59点以下とし、優、良、可を合格、不可を不合格とする。
教科書・参考書	テキスト：陳淑梅他「しゃべっていいとも中国語」朝日出版社 参考書：「はじめての中国語学習辞典」朝日出版社
履修条件	中国語入門者。中国語に対して興味があること。
履修上の注意	復習をしてから、真摯な態度で授業に臨むこと。
予習・復習	週に一時間以上の復習時間を確保し、音読練習や宿題プリントを解く。
オフィスアワー	特に無し。
備考・メッセージ	特に無し。

閉じる

選択したシラバスのプレビュー画面です 2017年度 [操作ボタン](#)

講義科目名称 : **日本語 I A** 授業コード : **17112**  
 英文科目名称 : **Japanese I A**

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1年次	1	選択
担当教員			
桑戸孝子			
1年次以上	全学部 (留学生)	週2時間	

授業概要	本科目では、大学での講義・演習に参加するために必要な日本語能力の基礎を養成する。 あるテーマについて書かれたテキストを読み解きながら、言葉や表現・文法等の練習を通して日本語の運用能力を向上させる。 また、調べたことや自分の意見を口頭で表現する活動も行う。
授業計画	<p>第 1回 クラスオリエンテーション+ L1「10代のうちに考えておくこと」動機づけ・言葉・文法導入</p> <p>第 2回 L1「10代のうちに考えておくこと」読解・討論</p> <p>第 3回 L1宿題チェック+ N2問題</p> <p>第 4回 L2「草は生きているか」動機づけ・言葉・文法導入</p> <p>第 5回 L2「草は生きているか」読解・討論</p> <p>第 6回 L2宿題チェック + N2問題</p> <p>第 7回 L3「仕事選び」動機づけ・言葉・文法導入</p> <p>第 8回 L3「仕事選び」読解・討論</p> <p>第 9回 L3宿題のチェック +N2問題</p> <p>第 10回 L4「障がいと私」動機づけ・言葉・文法導入</p> <p>第 11回 L4「障がいと私」読解・討論</p> <p>第 12回 L4の宿題チェック + N2問題</p> <p>第 13回 L5「フィンランドの学校で」動機づけ・言葉・文法導入</p> <p>第 14回 L5「フィンランドの学校で」読解・討論</p> <p>第 15回 L5の宿題チェック + N2問題</p>
授業形態	講義 授業は、内容理解問題やテーマに関する設問についてクラスメートと話し合いながら進めていく。
達成目標	①テキストを読み解き、内容を十分に理解する力を身につける。 ②あるテーマについて、自分自身で調べたり考えたりする力を養う。 ③自分の意見を適切な表現を用いて発表したり文章化したりできる日本語力を身につける。
評価方法	①クラス参加度 (10%)、②授業態度 (10%)、③課題 (30%)、④試験 (50%)、という配分で評価する。 なお、③の課題については、課題提出回数および課題の質により評価する。
評価基準	上記の評価方法で算出された100点満点の成績に対して、 80-100点を優、70-79点を良、60-69点を可、59点以下を不可とする。
教科書・参考書	教科書：『話す・書くにつながる！日本語読解 (中級)』 (アルク) 参考図書：日本語能力試験N2 問題集 (図書館および桑戸研究室にあります。必要な学生には貸し出しも行います)
履修条件	留学生のみ
履修上の注意	予習・復習をすること
予習・復習	予習：次回の授業内容の範囲について、必ず準備をしておくこと。準備は週によって違う。読解の前には本文の予習を、発表の前には発表の準備をするなど、きちんとしておくこと。予習内容については、毎週教師が具体的に連絡する。 復習：教科書や授業のノートを整理し、授業中に学習した練習問題を見直し理解を深めること。ノートは課題の一部として提出してもらい教師がチェックする。
オフィスアワー	水曜2限目 上記以外でも時間があるときはいつでも質問に応じる。
備考・メッセージ	学生の日本語力によっては、教材の変更もありうる。

閉じる

選択したシラバスのプレビュー画面です 2017年度 [操作ボタン](#)

講義科目名称 : **日本語 I A** 授業コード : **17128**  
 英文科目名称 : **Japanese I A**

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1年次	1	選択
担当教員			
桑戸孝子			
1年次以上	全学部 (留学生)	週2時間	

授業概要	本科目では、大学での講義・演習に参加するために必要な日本語能力の基礎を養成する。 あるテーマについて書かれたテキストを読み解きながら、言葉や表現・文法等の練習を通して日本語の運用能力を向上させる。 また、調べたことや自分の意見を口頭で表現する活動も行う。
授業計画	<p>第 1回 クラスオリエンテーション+ L1「10代のうちに考えておくこと」動機づけ・言葉・文法導入</p> <p>第 2回 L1「10代のうちに考えておくこと」読解・討論</p> <p>第 3回 L1宿題チェック+ N2問題</p> <p>第 4回 L2「草は生きているか」動機づけ・言葉・文法導入</p> <p>第 5回 L2「草は生きているか」読解・討論</p> <p>第 6回 L2宿題チェック + N2問題</p> <p>第 7回 L3「仕事選び」動機づけ・言葉・文法導入</p> <p>第 8回 L3「仕事選び」読解・討論</p> <p>第 9回 L3宿題のチェック +N2問題</p> <p>第 10回 L4「障がいと私」動機づけ・言葉・文法導入</p> <p>第 11回 L4「障がいと私」読解・討論</p> <p>第 12回 L4の宿題チェック + N2問題</p> <p>第 13回 L5「フィンランドの学校で」動機づけ・言葉・文法導入</p> <p>第 14回 L5「フィンランドの学校で」読解・討論</p> <p>第 15回 L5の宿題チェック + N2問題</p>
授業形態	講義 授業は、内容理解問題やテーマに関する設問についてクラスメートと話し合いながら進めていく。
達成目標	①テキストを読み解き、内容を十分に理解する力を身につける。 ②あるテーマについて、自分自身で調べたり考えたりする力を養う。 ③自分の意見を適切な表現を用いて発表したり文章化したりできる日本語力を身につける。
評価方法	①クラス参加度 (10%)、②授業態度 (10%)、③課題 (30%)、④試験 (50%)、という配分で評価する。 なお、③の課題については、課題提出回数および課題の質により評価する。
評価基準	上記の評価方法で算出された100点満点の成績に対して、 80-100点を優、70-79点を良、60-69点を可、59点以下を不可とする。
教科書・参考書	教科書：『話す・書くにつながる！日本語読解（中級）』（アルク） 参考図書：日本語能力試験N2問題集（図書館および桑戸研究室にあります。必要な学生には貸し出しもを行います）
履修条件	留学生のみ
履修上の注意	予習・復習をすること
予習・復習	予習：次回の授業内容の範囲について、必ず準備をしておくこと。準備は週によって違う。読解の前には本文の予習を、発表の前には発表の準備をするなど、きちんとしておくこと。予習内容については、毎週教師が具体的に連絡する。 復習：教科書や授業のノートを整理し、授業中に学習した練習問題を見直し理解を深めること。ノートは課題の一部として提出してもらい教師がチェックする。
オフィスアワー	水曜2限目 上記以外でも時間があるときはいつでも質問に応じる。
備考・メッセージ	学生の日本語力によっては、教材の変更もありうる。

閉じる

選択したシラバスのプレビュー画面です

2017年度 [操作ボタン](#)

講義科目名称 : **日本語 I B**  
 英文科目名称 : **Japanese I B**

授業コード : **17137**

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1年次	1	選択
担当教員			
桑戸孝子			
1年次以上	全学部 (留学生)	週2時間	

授業概要	<p>本科目は日本語を母語としない留学生を対象とした科目である。大学で学ぶ上で必要な作文技術の基礎を身につけることを目的とする。論理的な文章を書くための「段落構成」および場面やテーマに応じた文章を書くために必要な「表現・文法」などを学ぶ。授業は講義形式ではなく、学生自身が練習問題に取り組む形式で進められる。それにより、学生の気づきを促し、文型・表現・展開パターンなどの作文技術の習得を促進する。また、課題テーマに沿った作文を書くことにより、まずは日本語で書くという作業に慣れることも目標とする。</p>
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 自己紹介をする+N2問題 (文字・語彙)</li> <li>2. 私の学習法について説明する</li> <li>3. 状況を説明し意見を述べる</li> <li>4. 段落を作る (中心文と支持文) + N2問題 (文字・語彙)</li> <li>5. 段落を作る (接続詞)</li> <li>6. 紹介文を書く (私の好きなもの)</li> <li>7. 報告文を書く</li> <li>8. 報告文の発表 + N2の問題 (文字・語彙)</li> <li>9. テーマに沿った意見文を書く (意見を述べる表現)</li> <li>10. テーマに沿った意見文を書く (課題の作文を書く)</li> <li>11. 討論して意見文を書く + N2の問題 (文字・語彙)</li> <li>12. 共通点・相違点を述べる</li> <li>13. 文体の使い分けを学ぶ</li> <li>14. 話し言葉から書き言葉へ + N2の問題 (文字・語彙)</li> <li>15. まとめと復習</li> </ol>
授業形態	<p>講義                      毎回配付するプリントを使い、練習問題形式で文型、表現、展開パターンなどの作文技術を習得する。課題として、その週に学習した文型や表現を使った作文を提出してもらう。</p>
達成目標	<p>日本語を使って、いくつかの段落からなる800字程度の論理的な文章が書けるようになる。</p>
評価方法	<p>①クラス参加度 (10%)、②授業態度 (10%)、③課題提出 (30%)、試験 (50%) という配分で評価する。                      なお、③の課題提出は提出した回数および課題の質によって評価する。</p>
評価基準	<p>上記の評価方法で算出された100点満点の成績に対して、                      80-100点を優、70-79点を良、60-69点を可、59点以下を不可とする。</p>
教科書・参考書	<p>テキスト：特になし。担当教員が毎週プリントを配付する。                      関連教材：『小論文への12のステップ』(スリーエーネットワーク)                      『表現テーマ別 にほんご作文の方法 (改訂版)』(第三書房)                      『大学生で学ぶための日本語ライティング』(The Japan Times)</p>
履修条件	<p>留学生のみ</p>
履修上の注意	<p>特になし</p>
予習・復習	<p>復習：授業で学んだことをもとに、与えられたテーマについて作文を書くこと。また、学んだ言葉や表現はノートなどにきちんと整理すること。                      予習：次に習うところの予習をすること。また、授業で教師が指示した課題についても予習を行うこと。</p>
オフィスアワー	<p>水曜日 2時限目</p>
備考・メッセージ	<p>オフィスアワー以外でも、時間があるときにはいつでも質問に応じる。</p>

閉じる

選択したシラバスのプレビュー画面です 2017年度 [操作ボタン](#)

講義科目名称 : **基礎英語IIA (後期1年E5, E6, E7)** 授業コード : **17250 17251 17255**  
 英文科目名称 : **Basic English IIA**

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1年次	1	選択
担当教員			
上野 誠司 (E5)、上野 誠司 (E6)、若林 節子 (E7)			
全学年	全学部	週2時間	

授業概要	<p>1年次・「後期」に開講する本科目は、英語カリキュラム・基礎クラスの「基礎英語 I A・B」(1年次・前期)を踏まえて行われるものである。基礎英語IIでは、一定の英語力を身につけた学生を対象に、これまで修得してきた英語の4技能をさらにバランスよく伸ばすことを目指す。基礎英語IIAでは、reading / writing に重点がおかれ、同時期に開講する「基礎英語IIB」では、listening / speaking に重点がおかれている。</p> <p>*[重要] 「基礎英語IIA」は、「基礎英語IIB」とセットで構成されている科目であるので、両方の科目を同学期に履修すること。</p>
授業計画	<p>1回 ガイダンス                  2回 Unit 7: Which one is cheaper?-Reading                  3回 Unit 7: Which one is cheaper?-Writing                  4回 Unit 8: What's she like?-Reading                  5回 Unit 8: What's she like?-Writing                  6回 Unit 9: What can you do there?-Reading                  7回 Unit 9: What can you do there?-Writing                  8回 Review: Units7-9                  9回 Unit 10: Is there a bank near here?-Reading                  10回 Unit 10: Is there a bank near here?-Writing                  11回 Unit 11: Did you have a good time?-Reading                  12回 Unit 11: Did you have a good time? -Writing                  13回 Unit 12: I'm going to go by car.-Reading                  14回 Unit 12: I'm going to go by car. -Writing                  15回 Review: Units 10-12</p>
授業形態	講義
達成目標	<p>① 異文化や、多様な価値観を理解する上で、重要なコミュニケーションの道具としての「英語」に慣れ親しむこと。                  ② 外国語学習だけに留まらず、生涯学習にもつながる積極的な学習習慣を身につけること。主体的、積極的に英語の学習に取り組み、広く世界を知る喜びを得ること。</p>
評価方法	<p>① 授業に対する積極的な姿勢や、授業内で行う小テスト、出された課題の内容及び提出状況などによる平常点と、定期試験期間中に行われる期末試験とで、50点。                  ② 授業外で行われる「英語共通テスト」50点、という配分で評価する(100点満点)。</p>
評価基準	上記の評価方法で算出された100点満点の成績に対して、80-100点を優、70-79点を良、60-69点を可、59点以下を不可とする。
教科書・参考書	<p>教科書: Smart Choice 1 Student book by Ken Wilson [Third edition] (ISBN: 978-0-19-460264-8)                  : 『マーフィーのケンブリッジ英文法(初級編)第3版』(ISBN:978-4-889967-65-4)                  *教科書は、基礎英語IA/基礎英語IBと、基礎英語IIA/基礎英語IIBとは、共通である。                  その他については、授業中に随時指示する。</p>
履修条件	<p>①クラス分けの指示に従うこと。                  ②外国語のカリキュラムの系統性に従って履修すること。                  ③主体的に学習する意欲、姿勢を持つこと。</p>
履修上の注意	<p>①3分の2以上の授業に出席し、主体的に参加することが最低限必要であり、これを為さない場合は評価をしないので注意すること。                  ②授業中に指示された自己学習については、学習支援センターや、図書館などを利用したりしながら必ず行うこと。</p>
予習・復習	<p>授業と同程度の時間を使って、教科書の内容や教員が指定した予習、教員に指示された課題やレポートなどを学習支援センターで行い、疑問点があれば教員やセンター職員に質問すること。                  [*推奨] 教室・図書館・学習支援センターの英語多読用図書を使って、自ら目標をたてて自主的に学習したりすることが望ましい。</p>
オフィスアワー	授業中に説明する。
備考・メッセージ	<p>* JABEE学習・教育目標 (1.4)                  * 2013年度以前入学者科目名称: 英語IIA</p>

閉じる

選択したシラバスのプレビュー画面です 2017年度 [操作ボタン](#)

講義科目名称 : 基礎英語ⅡB (後期1年E5, E6, E7) 授業コード : 17269 17272 17278  
 英文科目名称 : Basic English IIB

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1年次	1	選択
担当教員			
上野 誠司(E5), 上野 誠司(E6), 若林 節子(E7)			
1年次以上	全学部	週2時間	

授業概要	<p>1年次・「後期」に開講する本科目は、英語カリキュラム・基礎クラスの「基礎英語ⅠA・B」(1年次・前期)を踏まえて行われるものである。基礎英語Ⅱでは、一定の英語力を身につけた学生を対象に、これまで修得してきた英語の4技能をさらにバランスよく伸ばすことを目指す。基礎英語ⅡBでは、listening / speaking に重点がおかれ、同時期に開講する「基礎英語ⅡA」では、reading / writing に重点がおかれている。</p> <p>*[重要]「基礎英語ⅡB」は、「基礎英語ⅡA」とセットで構成されている科目であるので、両方の科目を同学期に履修すること</p>
授業計画	<p>1回 ガイダンス                  2回 Unit 7: Which one is cheaper?-Listening                  3回 Unit 7: Which one is cheaper? -Speaking                  4回 Unit 8: What's she like?-Listening                  5回 Unit 8: What's she like?-Speaking                  6回 Unit 9: What can you do there?-Listening                  7回 Unit 9: What can you do there?-Speaking                  8回 Review: Units7-9                  9回 Unit 10: Is there a bank near here?-Listening                  10回 Unit 10: Is there a bank near here?-Speaking                  11回 Unit 11: Did you have a good time?-Listening                  12回 Unit 11: Did you have a good time? -Speaking                  13回 Unit 12: I'm going to go by car.-Listening                  14回 Unit 12: I'm going to go by car. -Speaking                  15回 Review: Units 10-12</p>
授業形態	講義
達成目標	<p>① 異文化や、多様な価値観を理解する上で、重要なコミュニケーションの道具としての「英語」に慣れ親しむこと。                  ② 外国語学習だけに留まらず、生涯学習にもつながる積極的な学習習慣を身につけること。主体的、積極的に英語の学習に取り組み、広く世界を知る喜びを得ること。</p>
評価方法	<p>① 授業に対する積極的な姿勢や、授業内で行う小テスト、出された課題の内容及び提出状況などによる平常点と、定期試験期間中に行われる期末試験とで、50点。                  ② 授業外で行われる「英語共通テスト」50点、という配分で評価する (総合 100点満点)。</p>
評価基準	上記の評価方法で算出された100点満点の成績に対して、80-100点を優、70-79点を良、60-69点を可、59点以下を不可とする。
教科書・参考書	<p>教科書: Smart Choice 1 Student book by Ken Wilson [Third edition] (ISBN: 978-0-19-460264-8)                  : 『マーフィーのケンブリッジ英文法(初級編) 第3版』(ISBN:978-4-889967-65-4)                  *教科書は、基礎英語ⅠA/基礎英語ⅠB(前期)と、基礎英語ⅡA/基礎英語ⅡBとは、共通である。                  その他については、授業中に随時指示する。</p>
履修条件	<p>①クラス分けの指示に従うこと。                  ②外国語のカリキュラムの系統性に従って履修すること。                  ③主体的に学習する意欲、姿勢を持つこと。</p>
履修上の注意	<p>①3分の2以上の授業に出席し、主体的に参加することが最低限必要であり、これを為さない場合は評価をしないので注意すること。                  ②授業中に指示された自己学習については、学習支援センターや、図書館などを利用したりしながら必ず行うこと。</p>
予習・復習	<p>授業と同程度の時間を使って、教科書の内容や教員が指定した予習、教員に指示された課題やレポートなどを学習支援センターで行い、疑問点があれば教員やセンター職員に質問すること。                  [*推奨] 教室・図書館・学習支援センターの英語多読用図書を使って、自ら目標をたてて自主的に学習したりすることが望ましい。</p>
オフィスアワー	授業中に説明する。
備考・メッセージ	<p>* JABEE学習・教育目標 (1.4)                  * 2013年度以前入学者科目名称 : 英語ⅡB</p>

閉じる



選択したシラバスのプレビュー画面です 2017年度 [操作ボタン](#)

講義科目名称 : 英語 I A (後期1年E1, E2, E3, E4)  
 英文科目名称 : English IA

授業コード : 17254 17283 17284 17285

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1年次	2	選択
担当教員			
小田 尚子 (E1)、パスカル ヤマック(E2)、小田 尚子 (E3)、南川 眞知子 (E4)			
全学年	全学部	週2時間	

授業概要	<p>1年次・「後期」に開講する本科目は、英語カリキュラム・標準クラスの「基礎英語ⅡA・B」(1年次・前期)を踏まえて行われるものである。英語Ⅰでは、すでに一定の英語力を身につけた学生を対象に、これまで修得してきた英語の4技能を駆使して「能動的に英語を使う能力」を培うことを目指す。同Aでは基礎英語ⅡAに引き続き、reading/writingに重点が置かれ、同時期に開講する「英語ⅡB」では、listening/speakingに重点が置かれる。</p> <p>*【重要】「英語ⅡA」は、「英語ⅡB」とセットで構成されている科目であるので、両方の科目を同学期に履修すること。</p>
授業計画	<p>1回 ガイダンス                  2回 Unit 1: How was your vacation?-Reading / writing                  3回 Unit 2: I think it's exciting!-Reading / writing                  4回 Unit 3: Do it before you're 30!-Reading / writing                  5回 Unit 4: The best place in the world!-Reading / writing                  6回 Unit 5: Where's the party?-Reading / writing                  7回 Unit 6: You should try it!-Reading / writing                  8回 Review: Units 1-3 and Units 4-6                  9回 Unit 7: There are too many stores!-Reading / writing                  10回 Unit 8: I like people who are smart.-Reading / writing                  11回 Unit 9: What were you doing?-Reading / writing                  12回 Unit 10: It must be an earthquake!-Reading / writing                  13回 Unit 11: I used to sing.-Reading / writing                  14回 Unit 12: If you live downtown...-Reading / writing                  15回 Review: Units 7-9 and Units 10-12</p>
授業形態	講義
達成目標	<p>①異文化や、多様な価値観を理解する上で、重要なコミュニケーションの道具としての「英語」に親しみ、英語を使つての「能動的なコミュニケーション力」を身につけること。                  ②主体的、積極的に英語の学習に取り組み、広く世界を知る喜びを得ること。</p>
評価方法	<p>①授業に対する積極的な姿勢や、授業内で行う小テスト、出された課題の内容及び提出状況などによる平常点と、定期試験期間中に行われる期末試験とで、50点、                  ②授業外で行われる「英語共通テスト」50点、                  という配分で評価する(総合100点満点)</p>
評価基準	上記の評価方法で算出された100点満点の成績に対して、80-100点を優、70-79点を良、60-69点を可、59点以下を不可とする。
教科書・参考書	<p>教科書 : Smart Choice 2 Student Book by Ken Wilson [Third edition] (ISBN: 978-0-19-460273-0)                  : 『マーフィーのケンブリッジ英文法(初級編) 第3版』(ISBN:978-4-889967-65-4)                  *教科書は、英語ⅡAと英語ⅡBとで共通である。                  その他については授業中に提示する。</p>
履修条件	<p>①クラス分けの指示に従うこと。                  ②外国語のカリキュラムの系統性に従って履修すること。すなわち基礎英語ⅡA,ⅡBをすでに履修したことがあること(但し、特別措置として教員がその学生の状況を判断して特に履修を認めた場合は除く。)                  ③主体的に学習する意欲、姿勢を持つこと。</p>
履修上の注意	①3分の2以上の授業に出席し、主体的に参加することが最低限必要であり、これを為さない場合は評価をしないので注意すること。 ②授業中に指示された自己学習については、学習支援センターや、図書館などを利用したりしながら必ず行うこと。
予習・復習	<p>授業と同程度の時間を使って、教科書の内容や教員が指定した予習をするとともに、教員に指示された課題やレポートなどを行い、授業の内容をしっかりと復習し、疑問点があれば教員に質問すること。                  [*推奨] 教室・図書館・学習支援センターの英語多読用図書を使って、自ら目標をたてて自主的に学習したりすることが望ましい。</p>
オフィスアワー	授業中に説明する。
備考・メッセージ	<p>* JABEE学習・教育目標 (1.4)                  * 2013年度以前入学者科目名称 : 英語ⅢA</p>

選択したシラバスのプレビュー画面です 2017年度 [操作ボタン](#)

講義科目名称 : 英語 I B (後期1年E1, E2, E3, E4) 授業コード : 17130 17131 17132 17133 17134  
 英文科目名称 : English IB

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1年次	2	選択
担当教員			
小田 尚子 (E1), パスカル ヤマック (E2), 小田 尚子 (E3), 南川 眞知子 (E4)			
2年以上	全学部	週2時間	

授業概要	<p>1年次・「後期」に開講する本科目は、英語カリキュラム・標準クラスの「基礎英語IIA・B」(1年次・前期)を踏まえて行われるものである。英語Iでは、すでに一定の英語力を身につけた学生を対象に、これまで修得してきた英語の4技能をさらにバランスよく伸ばすことを目指す。「英語IB」では基礎英語IIBに引き続き、listening / speaking に重点がおかれ、同時期に開講する「英語IA」では、reading / writing に重点がおかれている。</p> <p>*[重要] 「英語IB」は、「英語IA」とセットで構成されている科目であるので、両方の科目を同学期に履修すること。</p>
授業計画	<p>1回 ガイダンス                  2回 Unit 1: How was your vacation? -Listening / Speaking                  3回 Unit 2: I think it's exciting! -Listening / Speaking                  4回 Unit 3: Do it before you're 30! -Listening / Speaking                  5回 Unit 4: The best place in the world! -Listening / Speaking                  6回 Unit 5: Where's the party? -Listening / Speaking                  7回 Unit 6: You should try it! -Listening / Speaking                  8回 Review: Units 1-3 and Units 4-6                  9回 Unit 7: There are too many stores! -Listening / Speaking                  10回 Unit 8: I like people who are smart. -Listening / Speaking                  11回 Unit 9: What were you doing? -Listening / Speaking                  12回 Unit 10: It must be an earthquake! -Listening / Speaking                  13回 Unit 11: I used to sing. -Listening / Speaking                  14回 Unit 12: If you live downtown... -Listening / Speaking                  15回 Review: Units 7-9 and Units 10-12</p>
授業形態	講義
達成目標	<p>①異文化や、多様な価値観を理解する上で、重要なコミュニケーションの道具としての「英語」に親しみ、英語を使った「能動的なコミュニケーション力」を身につけること。                  ②主体的、積極的に英語の学習に取り組み、国際人として広く世界を知ること。</p>
評価方法	<p>①授業に対する積極的な姿勢や、授業内で行う小テスト、出された課題の内容及び提出状況などによる平常点と、定期試験期間中に行われる期末試験とで、50点、                  ②授業外で行われる「英語共通テスト」50点、                  という配分で評価する(100点満点)。</p>
評価基準	上記の評価方法で算出された100点満点の成績に対して、80-100点を優、70-79点を良、60-69点を可、59点以下を不可とする。
教科書・参考書	<p>教科書: Smart Choice 2 Student book by Ken Wilson [Third edition] (ISBN: 978-0-19-460273-0)                  : 『マーフィーのケンブリッジ英文法(初級編) 第3版』(ISBN:978-4-889967-65-4)                  *教科書は、英語IAと英語IBとは、共通である。                  その他については、授業中に随時指示する。</p>
履修条件	<p>①クラス分けの指示に従うこと。                  ②外国語のカリキュラムの系統性に従って履修すること。すなわち基礎英語II A, II Bをすでに履修したことがあること(但し、特別措置として教員がその学生の状況を判断して特に履修を認めた場合は除く。)                  ③主体的に学習する意欲、姿勢を持つこと。</p>
履修上の注意	<p>①3分の2以上の授業に出席し、主体的に参加することが最低限必要であり、これを為さない場合は評価をしないので注意すること。                  ②授業中に指示された自己学習については、学習支援センターや、図書館などを利用したりしながら必ず行うこと。</p>
予習・復習	<p>授業と同程度の時間を使って、教科書の内容や教員が指定した予習をするとともに、教員に指示された課題やレポートなどを行い、授業の内容をしっかりと復習し、疑問点があれば教員に質問すること。                  [*推奨] 教室・図書館・学習支援センターの英語多読用図書を使って、自ら目標をたてて自主的に学習したりすることが望ましい。</p>
オフィスアワー	授業中に説明する。
備考・メッセージ	<p>* JABEE学習・教育目標 (1.4)                  * 2013年度以前入学者科目名称: 英語IIB</p>

選択したシラバスのプレビュー画面です

2017年度 [操作ボタン](#)

講義科目名称 : 英会話 II

授業コード : 17260

英文科目名称 : English Conversation II

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1年次	1	選択
担当教員			
若林 節子			
全学年	全学部	週2時間	

授業概要	1年次・「後期」に開講する本科目は、英語カリキュラム・標準クラスの「英語IA・B」（1年次・後期）に対応するレベルで行われるものである。英会話 II では、「基礎英語 I IA・B」や「英会話 I」で修得した英語の4技能を活かして、スピーキングやプレゼンテーションの技能をさらに伸ばすことを目指す。
授業計画	<p>1回 ガイダンス</p> <p>2回 Unit 1: How was your vacation? —speaking / presenting</p> <p>3回 Unit 2: I think it's exciting! —speaking / presenting</p> <p>4回 Unit 3: Do it before you're 30! —speaking / presenting</p> <p>5回 Unit 4: The best place in the world! —speaking / presenting</p> <p>6回 Unit 5: Where's the party? —speaking / presenting</p> <p>7回 Unit 6: You should try it! —speaking / presenting</p> <p>8回 Review: Units 1-Unit 6</p> <p>9回 Unit 7: There are too many stores! —speaking / presenting</p> <p>10回 Unit 8: I like people who are smart.—speaking / presenting</p> <p>11回 Unit 9: What were you doing? —speaking / presenting</p> <p>12回 Unit 10: It must be an earthquake! —speaking / presenting</p> <p>13回 Unit 11: I used to sing.—speaking / presenting</p> <p>14回 Unit 12: If you live downtown... —speaking / presenting</p> <p>15回 Review: Units 7-12</p>
授業形態	講義
達成目標	<p>①異文化や、多様な価値観を理解する上で、重要なコミュニケーションの道具としての「英語」に親しみ、英語を使つての「能動的なコミュニケーション力」を身につけること。</p> <p>②主体的に英語の学習に取り組み、広く世界を知り、英語を使つて積極的に世界と関わつてゆく力を習得すること。</p>
評価方法	<p>①授業に対する積極的な姿勢や、授業内で行う小テスト、出された課題の内容及び提出状況などによる平常点、授業期間とは別の定期試験期間中に行われる期末試験で50点、</p> <p>②授業外で行われる「英語共通テスト」50点、</p> <p>という配分で評価する（総合100点満点）。</p>
評価基準	上記の評価方法で算出された100点満点の成績に対して、80-100点を優、70-79点を良、60-69点を可、59点以下を不可とする。
教科書・参考書	<p>教科書: Smart Choice 2 Student book by Ken Wilson [Third edition] (ISBN: 978-0-19-460273-0)</p> <p>*教科書は、英会話Iと、基礎英語IIA/基礎英語IIBとは、共通である。</p> <p>参考書: 『マーフィーのケンブリッジ英文法（初級編）第3版』(ISBN:978-4-889967-65-4)</p> <p>その他については、授業中に随時指示する。</p>
履修条件	<p>①外国語のカリキュラムの系統性に従つて履修すること。</p> <p>②基礎英語 I A・B及び英会話 I をすでに履修したことがあること（但し、特別措置として教員がその学生の状況を判断して特に履修を認めた場合は除く。）。</p> <p>③主体的に学習する意欲、姿勢を持つこと。</p>
履修上の注意	<p>①3分の2以上の授業に出席し、主体的に参加することが最低限必要であり、これを為さない場合は評価をしないので注意すること。</p> <p>②授業中に指示された自己学習については、学習支援センターや、図書館などを利用したりしながら必ず行うこと。</p> <p>③人数によっては履修制限をする場合があるので従うこと。</p>
予習・復習	<p>授業と同程度の時間を使って、教科書の内容や教員が指定した予習、教員に指示された課題やレポートなどを学習支援センターで行い、疑問点があれば教員やセンター職員に質問すること。</p> <p>〔*推奨〕教室・図書館・学習支援センターの英語多読用図書を使って、自ら目標をたてて自主的に学習したりすることが望ましい。</p>
オフィスアワー	授業中に説明する。
備考・メッセージ	<p>* JABEE学習・教育目標 (1.4)</p> <p>* 2013年度以前入学者科目名称 : 英会話II</p>

閉じる

選択したシラバスのプレビュー画面です

2017年度 [操作ボタン](#)

講義科目名称 : 独語Ⅱ  
英文科目名称 : German II

授業コード : 17261

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1年次	1	選択
担当教員			
小川 保博			
1年次以上	全学部	週2時間	

授業概要	総合ドイツ語。「独語Ⅰ」の「礎」を受けて、複合時称、複合文といった、より複雑な文を学習し、「読み、書き、聞き、話す」力のグレードアップを目指す。また、新聞雑誌レベルの独語文を辞書を引きながらでも読める力を育成し、ドイツ(欧・外国一般)を比較文化論的な視野から考えていく。講義形態は講義と演習を併用。
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. オリエンテーション</li> <li>2. 「独語Ⅰ」の復習</li> <li>3. Das ist mein neuer Wagen. 形容詞. 序数</li> <li>4. Hamburg ist groesser als Muenchen. 比較級と最上級</li> <li>5. Ich interessiere fuer Sport. 再帰代名詞と再帰動詞</li> <li>6. Ich war gestern in Bremen. 過去形</li> <li>7. Was hast du zu Mittag gegessen? 完了形</li> <li>8. Ich habe vor, Mathematik zu studieren. Zu不定詞(句)</li> <li>9. Der Wagen wird gerade repariert. 受動態</li> <li>10. Das ist Herr Tanaka, der aus Osaka kommt. 関係代名詞</li> <li>11. Alex faehrt nach Bonn, wo seine Freundin wohnt. 関係副詞</li> <li>12. Das ist meine Tochter. 指示代名詞</li> <li>13. Hatte ich Zeit, ginge ich ins Kino. 接続法(1)</li> <li>14. Er sagte, er habe viel Arbeit. 接続法(2)</li> <li>15. Sprichwoerter 接続法(3)</li> </ol>
授業形態	講義
達成目標	初歩的なドイツ語を理解し、日常よく使われる簡単な表現や文を運用できる「ドイツ語検定試験(独検)4級レベルを目指す。
評価方法	定期試験の成績、小テストの成績、復習用レポートの提出状況、授業参加度[教員との質疑応答、受講者間での学習言語により対話、テキスト設問応答]を考慮し、総合的に評価する。定期試験60%、小テスト10%、課題提出10%、授業参加度20%。
評価基準	評定は、優、良、可、不可の4種類をもってこれを表し、優は80点から100点、良は70点から79点、可は60点から69点、不可は59点以下とし、優、良、可を合格、不可を不合格とする。
教科書・参考書	教科書:「ideal 例文で学ぶドイツ文法」(朝日出版社) 参考書: 独和辞典
履修条件	「独語Ⅰ」履修者
履修上の注意	独和辞典[電子辞書可]を講義時に必ず持参のこと。 復習に重点を置いて学習すること。
予習・復習	講義と同程度の時間をかけて既習部文の音読を繰り返し、復習用レポートを作成し、次回講義の内容を簡単に確認しておくこと。
オフィスアワー	講義後の一時間。
備考・メッセージ	復習に重点を置きながら毎日学習する習慣を身につけてください。また、テレビやラジオの「ドイツ語講座」などを利用し、日々外国語に接するよう心掛け、欧州・ドイツの現代事情に関する書をたくさん読んでください。

閉じる

選択したシラバスのプレビュー画面です

2017年度 [操作ボタン](#)

講義科目名称 : 仏語Ⅱ  
英文科目名称 : French II

授業コード : 17273

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1年次	1	選択
担当教員			
百田 みち子			
1年次	全学部	週2時間	

授業概要	前期の仏語Iと同じですが、後期のこの仏語IIは完全に自己紹介が口頭ででき、相手にインタビューし、かつ、インタビューに答えることができるようになるのが狙いです。ゲーム活用、ロール・プレーイングなどを盛り込んでいきます。なお、毎回、理解を助けるためのプリント「授業のポイント」を配布します。
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. ~したいという</li> <li>2. 観光に関する語彙、ボルドーワインについて</li> <li>3. 興味を述べる</li> <li>4. 誘う</li> <li>5. 自分の一日をいう、各自の自己紹介文の発音練習</li> <li>6. 自己紹介のオーラルテスト</li> <li>7. 天候と時刻をいう</li> <li>8. 数量の表現</li> <li>9. 中性代名詞enと人称代名詞le, la, les</li> <li>10. 比較する</li> <li>11. 過去のことを話す</li> <li>12. 相手にインタビューする文を書く</li> <li>13. インタビューのオーラルテスト</li> <li>14. 映像でみるボルドー：世界遺産の村、特産物、ブドウ収穫</li> <li>15. テキスト付録の練習問題で学習到達度を確認</li> </ol>
授業形態	講義
達成目標	フランス語の文を正確に読めるようになる。前期で書けるようになった自己紹介文が口頭でいえるようになる。入門段階の文法の基礎知識を一通り身につける。 フランス語を使って一人でフランス旅行をし、自分の目でフランスの実態を確かめたいという意欲的な異文化理解への自発性を育む。
評価方法	期末試験と小テスト(筆記と口頭) 50%、平常点(積極的な授業参加を含む) 30%、レポート20%。期末試験を受けるには出席が10回以上なくてはなりません。スピーチコンテスト出場の場合は平常点に加味、入賞すれば試験の点数に加味します。また、仏検5級合格者には期末試験を免除します。
評価基準	評定は、優、良、可、不可の4種類をもってこれを表し、優は80点から100点、良は70点から79点、可は60点から69点、不可は59点以下とし、優、良、可を合格、不可を不合格とする。
教科書・参考書	パリ・ボルドー (CD付き)、藤田 裕二著、朝日出版社 家で何度もCDを聴ける環境を整えてください。
履修条件	前もって仏語Iを履修しておくことを推奨する。
履修上の注意	すでにフランス語を勉強している留学生も語学力の維持に効果的です。
予習・復習	一回の授業につき最低予習2時間、復習2時間が望まれます。授業週一回なので、予習は週二回に分けて、単語調べ、本文の音読をしておく。復習も週二回に分けて、文法事項の整理とその関連の練習問題、単語覚え、重要な表現、慣用表現、キーセンテンスの暗記、本文の音読をします。この授業をきちんとマスターすれば、仏検5級ないし4級合格も可能です。
オフィスアワー	希望者には語学系ゼミ室で補習時間を確保します。気軽にきてください。
備考・メッセージ	卒業後フランス語圏で仕事をするようなことが起きたとき、学習したノートや教科書で容易に独習できる態勢を備えておくことも重要です!!

閉じる

選択したシラバスのプレビュー画面です

2017年度 [操作ボタン](#)

講義科目名称 : 中国語ⅡA  
英文科目名称 : Chinese IIA

授業コード : 17263

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1年次	1	選択
担当教員			
笹田 和子			
1年次以上	全学部	週2時間	

授業概要	前期の中国語IAに続き、中国語の発音、基礎文型の習得、簡単な作文練習を主とする。また、前期で習得した単語や文型の復習を行いつつ、さらに発展させ、語彙を増やしながら、中国語での簡単な会話ができることを目指す。そのため授業では、聞き取り、音読練習とともに、ロールプレイ練習を行い、積極的に中国語を話す練習をする。また毎回授業のはじめに、前回の復習として、聞き取りテストを行うので、授業で学習した内容を必ず復習しておくこと。
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 中国語でいろいろ挑戦。(中国語クイズ、中国語の歌)</li> <li>2. 「靴を買う」導入</li> <li>3. 「靴を買う」応用</li> <li>4. 「靴を買う」復習</li> <li>5. 「映画を見る」導入</li> <li>6. 「映画を見る」応用</li> <li>7. 「映画を見る」復習</li> <li>8. 「焼き芋」導入</li> <li>9. 「焼き芋」応用</li> <li>10. 「焼き芋」復習</li> <li>11. 「日本の建築」導入</li> <li>12. 「日本の建築」応用</li> <li>13. 「日本の建築」復習</li> <li>14. 「ホームシック」</li> <li>15. 総復習と期末テストの傾向と対策</li> </ol>
授業形態	講義
達成目標	語彙をつけ、便利なフレーズが自然に使えるようになること。日常的な簡単な会話が中国語で行えること。
評価方法	期末試験80点、授業中の会話力、翻訳力10点、宿題の提出と出来具合10点。
評価基準	評定は、優、良、可、不可の4種類をもってこれを表し、優は80点から100点、良は70点から79点、可は60点から69点、不可は59点以下とし、優、良、可を合格、不可を不合格とする。
教科書・参考書	テキスト：徐祖璿著「はじめて習う中国語」白水社 参考書：「はじめての中国語学習辞典」朝日出版社
履修条件	前もって中国語IAを履修することを推奨する。中国語に対して興味があること。
履修上の注意	復習をしてから、真摯な態度で授業に臨むこと。
予習・復習	週に一時間以上の復習時間を確保し、音読練習や宿題プリントを解く。
オフィスアワー	特に無し。
備考・メッセージ	特に無し。

閉じる

選択したシラバスのプレビュー画面です

2017年度 [操作ボタン](#)

講義科目名称 : **中国語ⅡB**  
英文科目名称 : **Chinese IIB**

授業コード : **17275**

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1年次	1	選択
担当教員			
笹田 和子			
1年次以上	全学部	週2時間	

授業概要	前期科目に続き、中国語の発音、基礎文型の習得を主とする。前期で習得した単語や文型の復習を行いつつ、さらに発展させ、語彙力を増やしていく。またこの授業では積極的に会話練習を行う。ビデオを使ったロールプレイ練習を多く行い、前期の内容からさらに発展させ、いろいろな場面の中国語会話の練習を行う。また正確に中国語が書けることも重視し、定期的に短い中国語作文のテストを行う。毎回授業のはじめに、前回の復習として、聞き取りテストを行うので、授業で学習した内容を必ず復習しておくこと。
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 中国語いろいろ (中国語のドラマ・映画を見てみよう)</li> <li>2. 「宿泊する」導入</li> <li>3. 「宿泊する」応用</li> <li>4. 「宿泊する」復習</li> <li>5. 「道をたずねる」導入</li> <li>6. 「道をたずねる」応用</li> <li>7. 「道をたずねる」復習</li> <li>8. 「ショッピングをする」導入</li> <li>9. 「ショッピングをする」応用</li> <li>10. 「ショッピングをする」復習</li> <li>11. 「おしゃべりをする」導入</li> <li>12. 「おしゃべりをする」応用</li> <li>13. 「おしゃべりをする」復習</li> <li>14. 総復習</li> <li>15. 総復習と期末テストの傾向と対策</li> </ol>
授業形態	講義
達成目標	日常的な簡単な会話が中国語で行えること。短い中国語作文が正確に書けること。
評価方法	期末試験80点、授業中の会話力、翻訳力10点、宿題の提出と出来具合10点。
評価基準	評定は、優、良、可、不可の4種類をもってこれを表し、優は80点から100点、良は70点から79点、可は60点から69点、不可は59点以下とし、優、良、可を合格、不可を不合格とする。
教科書・参考書	テキスト：陳淑梅他「しゃべっていいとも中国語」朝日出版社 参考書：「はじめての中国語学習辞典」朝日出版社
履修条件	前もって中国語IBを履修することを推奨する。中国語に対して興味があること。
履修上の注意	復習をしてから、真摯な態度で授業に臨むこと。
予習・復習	週に一時間以上の復習時間を確保し、音読練習や宿題プリントを解く。
オフィスアワー	特に無し。
備考・メッセージ	特に無し。

閉じる

選択したシラバスのプレビュー画面です 2017年度 [操作ボタン](#)

講義科目名称 : **日本語ⅡA** 授業コード : **17262**  
 英文科目名称 : **Japanese ⅡA**

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1年次	1	選択
担当教員			
桑戸孝子			
1年次以上	全学部(留学生)	週2時間	

授業概要	本科目では、前期「日本語ⅠA」に続き、大学での講義・演習に参加するために必要な日本語能力の基礎を養成する。あるテーマについて書かれたテキストを読み解きながら、表現・文法・作文等のタスクを通して運用能力を向上させる。
授業計画	<p>第 1 回 L6「マニュアル社会」動機づけ・言葉・文法導入</p> <p>第 2 回 L6「マニュアル社会」読解・討論</p> <p>第 3 回 L6宿題チェック+ N2問題</p> <p>第 4 回 L7「遺伝子検査」動機づけ・言葉・文法導入</p> <p>第 5 回 L7「遺伝子検査」読解・討論</p> <p>第 6 回 L7宿題チェック + N2問題</p> <p>第 7 回 L8「コミュニケーションの日本語」動機づけ・言葉・文法導入</p> <p>第 8 回 L8「コミュニケーションの日本語」読解・討論</p> <p>第 9 回 L8宿題のチェック +N2問題</p> <p>第 10 回 L9「丸裸の山で」動機づけ・言葉・文法導入</p> <p>第 11 回 L9「丸裸の山で」読解・討論</p> <p>第 12 回 L9の宿題チェック + N2問題</p> <p>第 13 回 L10「何かを選択すればゴールに近づく」動機づけ・言葉・文法導入</p> <p>第 14 回 L10「何かを選択すればゴールに近づく」読解・討論</p> <p>第 15 回 L10の宿題チェック + N2問題</p>
授業形態	講義 授業は、内容理解問題やテーマに関する設問についてクラスメートと話し合いながら進めていく。
達成目標	①テキストを読み解き、内容を十分に理解する力を身につける。 ②あるテーマについて、自分自身で調べたり考えたりする力を養う。 ③自分の意見を適切な表現を用いて発表したり文章化したりできる日本語力を身につける。
評価方法	①クラス参加度(10%)、②授業態度(10%)、③課題提出(30%)、④試験(50%)という配分で評価する。 なお、③課題提出については、提出回数および課題の質によって評価する。
評価基準	上記の評価方法で算出された100点満点の成績に対して、 80-100点を優、70-79点を良、60-69点を可、59点以下を不可とする。
教科書・参考書	教科書：『話す・書くにつながる！日本語読解(中級)』(アルク) 参考図書：日本語能力試験N2問題集(図書館および桑戸研究室にあります。必要な学生には貸し出しもいたします)
履修条件	留学生のみ
履修上の注意	予習・復習をすること
予習・復習	予習：次回の授業内容の範囲について、必ず準備をしておくこと。準備は週によって違う。読解の前には本文の予習をするなど、きちんとしておくこと。予習内容については、毎週教師が具体的に連絡する。 復習：教科書や授業のノートを整理し、授業中に学習した練習問題を見直し理解を深めること。ノートは課題の一部として提出してもらい教師がチェックする。
オフィスアワー	水曜2限目 上記以外でも時間があるときはいつでも質問に応じる。
備考・メッセージ	特になし

閉じる



選択したシラバスのプレビュー画面です

2017年度 [操作ボタン](#)

講義科目名称 : **日本語 II B**  
 英文科目名称 : **Japanese II B**

授業コード : **17274**

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1年次	1	選択
担当教員			
桑戸孝子			
1年次以上	全学部 (留学生)	週2時間	

授業概要	<p>本科目は「日本語 I B」に続く科目である。「日本語 I B」に引き続き、論理的文章やレポートを書くために必要な基礎的な表現や文法を学ぶことを目的とする。</p> <p>書き言葉の文体や表現にも焦点を当て、「だ・である体」を用いた文章作成の練習を徹底して行う。また、日本語学習者が間違いやすい文法や表現を取り上げ、それを添削する練習を行うことにより、自己添削能力を高め、より正確で論理的文章が書けるようになることを目指す。</p> <p>本科目の最終段階では、資料に基づいてレポートを書く練習を行う。</p>
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 正しい構造の文 (主語と述語の関係) + N2問題 (文字語彙)</li> <li>2. 正しい構造の文 (文末の制限)</li> <li>3. 指示詞</li> <li>4. 接続詞その1</li> <li>5. 接続詞その2</li> <li>6. 客観性のある文章の文末表現</li> <li>7. 助詞相当句を用いた文章 (確認と練習)</li> <li>7. 助詞相当句を用いた文章 (課題の作文を書く)</li> <li>8. 段落 (中心文と支持文の復習と練習)</li> <li>9. 段落 (課題の作文を書く)</li> <li>10. レポートの基本的な書き方 (構成と3つの文)</li> <li>11. 根拠 (事実と意見) を述べながら書く</li> <li>12. 「日本は豊かか」というテーマでレポートを書こう (資料を読む)</li> <li>13. 「日本は豊かか」というテーマでレポートを書こう (論拠を述べながら書く)</li> <li>14. レポート作成と発表の準備 (データや表現の確認)</li> <li>15. レポート作成と発表 (発表)</li> </ol>
授業形態	<p>講義</p> <p>毎回、配付されたプリントを使用して、練習問題に取り組みせながら、学習者の気づきを促す形で授業を進める。</p>
達成目標	<p>資料を利用してレポートを書くことができるようになることを目標とする。</p>
評価方法	<p>①クラス参加度 (10%)、②授業態度 (10%)、③課題提出 (30%)、④試験 (50%) という配分で評価する。</p> <p>なお、③の課題提出については、課題の提出回数および課題の質によって、評価する。</p>
評価基準	<p>上記の評価方法で算出された100点満点の成績に対して、80-100点を優、70-79点を良、60-69点を可、59点以下を不可とする。</p>
教科書・参考書	<p>教科書：特になし。担当教員が毎週プリントを配付する。</p> <p>関連教材：『大学で学ぶための日本語ライティング』 (The Japan Times)                  『小論文への12のステップ』 (スリーエーネットワーク)</p>
履修条件	<p>留学生のみ</p>
履修上の注意	<p>予習・復習・宿題をきちんとすること</p>
予習・復習	<p>復習：授業で学んだことをもとに、与えられたテーマについて作文を書くこと。また、学んだ言葉や表現はノートなどにきちんと整理すること。</p> <p>予習：次に習うところの予習をすること。また、授業で教師が指示した課題についても予習を行うこと。</p>
オフィスアワー	<p>水曜日 2時限目</p>
備考・メッセージ	<p>オフィスアワー以外でも、時間が空いているときにはいつでも質問に応じる。</p>

閉じる